

平成21年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	高橋 三丸
事務事業名	シニアスポーツリーダー派遣事業			担当者	宮内 明智
所管部課名	教育部 市民スポーツ課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	スポーツの振興
				施策 (項)	スポーツの振興
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	保健体育費		目	保健体育総務費
	事項	健康スポーツ推進事業費	細事項	健康スポーツ推進事業費	

事業の概要

地区コミュニティ等を単位として、地区在住のシニア世代を対象に実施されるスポーツ教室にシニアスポーツリーダー(養成講習会修了者)を派遣し、健康体力づくりの習慣化、自立期間の延長、地域の活性化を図る。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	市民(シニア世代)		事業開始年度		平成19年度	
	手段 (市がどのような活動をするか)	地区コミュニティ協議会を単位として、シニア世代を対象としたスポーツ教室にシニアスポーツリーダー(指導者)を派遣する。	活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	シニアスポーツ教室未実施地区への勸奨 地区コミュニティ協議会への事業説明		
				最終目標値	4回/年 随時		
				最終年度			
意図 (どのような目的で事業を行うか)	地域に指導者を派遣することで、市民が気軽にスポーツ教室に参加がしやすく、またストレッチや手軽な筋力トレーニング等を実施し、市民の自立期間の延長、運動習慣の定着が図られ、健康体力づくりができる。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	シニアスポーツ教室実施地区数 シニアスポーツ教室実施回数			
			最終目標値	48地区 各地区24回/年			
			最終年度				

コスト・指標の推移	項目	単位	平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 (見込み)	平成22年度 (見込み)	平成23年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		129	296	610	1,200	1,200
		合計(A)		129	296	610	1,200	1,200
	従事職員数	人	0.70	0.70	0.85	0.85	0.85	
	人件費(B)	千円	5,600	5,600	6,800	6,800	6,800	
	従事嘱託員数	人						
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	5,729	5,896	7,410	8,000	8,000	
活動指標の推移		回/年	1回/年	1回/年	1回/年	2回/年	2回/年	
		回/年	3回/年	3回/年	5回/年	随時	随時	
成果指標の推移	実施地区数		4地区	8地区	11地区	20地区	48地区	
	実施回数		40回	99回	134回	240回	1,152回	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

- ・報償費(シニアスポーツリーダー講師謝金)
- ・普通旅費(シニアスポーツリーダー派遣講師旅費)

3 事業の視点別評価 (Check)

対象・手段の妥当性 妥当である 改善の余地はある 妥当でない

受 当 性	(上記選択の理由) ・地区コミュニティ主事連絡会・市体育指導委員研修会等を通じ、事業の周知を図る必要がある。 ・甑地域等現在、シニアスポーツリーダー(指導者)の登録者がいない地区があるため、指導者の派遣及び指導者の育成を含め検討する必要がある。
	市が関与すべき妥当性 <input type="checkbox"/> 市で実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき
効 率 性	(上記選択の理由) 市民の健康づくりは、市で取り組まなければならない業務であるが、運動の継続・定着を図るためにも、地区コミュニティ協議会を単位として各地区の事業として実施してもらう方向である。
	事業費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地はない <input type="checkbox"/> 削減余地はない
有 効 性	(上記選択の理由) 現在10回(1回2時間以上)以上の教室に対し5回分の講師謝金を支払っている。最終的には48地区コミュニティ協議会で実施し、各地区の継続事業として定着ができれば、事業は終了する方向である。
	人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地はない <input type="checkbox"/> 削減余地はない
有 効 性	(上記選択の理由) 同地区コミュニティ協議会での事業が5年間継続し、定着化が確認できれば、地区の事業として実施してもらう。
	成果の達成度 <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	(上記選択の理由) ・筋肉トレーニングやストレッチのみではなく脳トレーニング等も取り入れていることから、笑いに満ち精神的にもいい状態である。また、膝腰の慢性的な痛みも改善されたとの意見が多い ・未実施地区及びシニアスポーツリーダー(指導者)のいない地区がある。 ・実施地区及び事業の問い合わせ等は増えている。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない
有 効 性	(上記選択の理由) ・実施地区は増加してきているが、全地区で実施できるよう市体育指導委員及び地区コミュニティ協議会と連携し周知を図る必要がある。 ・シニアスポーツリーダーを育成することで、全地区コミュニティ協議会で実施できる体制づくりができ事業の充実に図れる。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内 部 評 価 (一 次)	今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 本事業は、48の地区コミュニティ協議会において、スポーツ教室が定着することが目的であるため。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 早期定着を目指し、地域関係者への周知と指導者の育成が必要である。
内 部 評 価 (二 次)	評価者名
	内部評価結果 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) シニアスポーツリーダーの人材確保と、有効活用 シニアスポーツ教室の開設と普及